

地区名：野川川口付近（大野川大橋）

地3-1

孔番：No.2

孔口標高： 比. 3.00m 掘進深度： 比. -45.00m

本柱状図の深度： 比. 0.00-3.00m

深度 (m)	柱状図	地層区分	層名	色調	記 事	採取試料 (七石、炭化物等)
0.50		悪土	砂質礫	茶灰色	中礫(10mm大)含心粗粒砂	
1.00		埋土	中礫混り粗粒砂～細礫	茶灰色	中礫多く混じる 礫 Max 35×20mm Ave 8×5mm 歪円礫主体～円礫 腐食不良	
1.50			中礫混り粗粒砂～細礫	灰茶灰色	全体的にマトリックスに泥が多い 中礫混じる 礫 Max 20×10mm Ave 6×5mm 歪円礫主体、円礫、歪角礫有 腐食不良 境界不明瞭	
2.00			泥質 中粒～細粒砂	濃茶色	腐食やや不良 マトリックスに泥多し	
2.10			泥質 細粒～中粒砂		腐食やや不良 マトリックスの泥かなり多い 境界線不明瞭	
3.00			中礫混り中粒～粗粒砂	濃茶色	マトリックスに泥が多い 中礫が存在する 礫 Max 40×30mm Ave 10×8mm 歪円礫主体、円礫、歪角礫有 腐食やや不良	

備考：

地区名：大分市大野川川口付近（大野川大橋）

No.2-2

孔番：No.3

孔口標高：EL. 3.00m

掘進深度：GL. -45.00m

本柱状図の深度：EL. 3.00-5.00m

深度 (m)	柱状図	地層区分	層相	色調	記 事	採取試料 (土石、炭化物等)
3.27			中礫混り 中礫～極細粒砂	茶～濃茶色	境界線不明瞭	
3.70					マトリックスはややぼびい 濁状やや不良 中礫点在 層 Max 20×10mm ラミナらしきものあり 上方細粒化のか？	
4.00			中礫混り 中礫～極細粒砂	一部微混り 濃灰色	J70-J72 細粒砂～中粒砂多し 上方ほど1/10程度は混がら 中礫混りて混がら 層 Max 10×5mm Ave 5×4mm 層内～内層 全体として上方細粒化ざみ 濁状やや不良 410-421 極細粒砂～中礫 (5mm大) 多い 境界不明瞭	
4.21			中礫混り 粗粒砂～細礫	濃灰色	最上部2cm位は細粒～中粒砂有 濁状やや不良 層 Max 20×15mm Ave 5×5mm 層内～最外層 下位ほど平均的に粒粒になる 上方細粒化 403 火山灰塵 (φ15mm) 有	
4.90			泥質極細粒砂 ～中粒砂	濃灰色	400-500 泥質極細粒砂多し 500-540 細粒砂多 全体として上方細粒化的 540より下位は中粒砂が多くなる 540-583 炭化物(材)片が比較的多く混じる 580 濃灰色の泥の塊層(厚さ3mm)挟まる (水平)火山灰か？	480-1280 貝殻片点在
5.00		境界線不明瞭 583-610 砂質シルト多			583-624まで細く	
5.00		砂質シルトから細粒砂		濃灰		

備考

地区名：大分市大野川川口付近（大野川大橋）

No.3-3

孔番：No.3

孔口標高：EL. 3.00m

掘進深度：EL. -45.00m

本柱状図の深度：EL. 4.00-9.00m

深度 (m)	柱状図	地層区分	層 様	色 調	記 事	採取試料(化石、炭化物等)
6.24					海はなやや低 全体的に上方細粒化的 610-624 細粒砂多い 612 炭化物片ラミナ状に入る(水卑) 610・624 弱いラミナ有 境界線不明瞭	
7.00			砂質シルト～細粒砂	濃灰色	620 炭化物(屑)ラミナ状に入る 623-629 炭化物入る 660 炭化物入る 624-706 砂質シルト～泥質細粒砂多 全体として上方細粒化的 672 貝殻片(大型)有 682 貝殻片(大型)有 705-713 細粒砂多 境界線不明瞭	
7.13			砂質シルト～シルト	濃灰色と灰色が入り混れる	742-745 炭化物片ラミナ状に入る 785 炭化物ラミナ状に入る 780-781 粗粒砂有 785-786 粗粒砂 全体的に砂質シルトとシルトとが不規則に入り混れている バイオタペーションによるものか 842-845 炭化物片入る 885 型円礫(30×25mm)有 この付近 882-897 粗粒砂は砕屑か	713-1015まで続く
8.00						
9.00						

備考

地区名：大分市大野川川口付近（大野川大橋）

No.3-4

孔番：No.3

孔口標高：EL. 3.00m

掘進深度：EL. -45.00m

本柱状図の深度：EL. 9.00-12.00m

深度 (m)	柱状図	地層区分	層 種	色 調	記 事	採取試料(化石、炭化物等)
9.00			砂質シルト～シルト	濃灰色と沢色が 入り混れる	921 炭化物ラミナ状に入る(水平) 全体的に砂質シルトとシルトが入り混れている 生物擾乱によるものか 957-958 炭化物片ラミナ状に入る 973 炭化物片ラミナ状に入る(水平) 984 歪角標(20×10mm) 有 1009-1015 シルト質極細粒砂多上位とは漸移的 境界不明瞭	
10.00			シルト～シルト質砂	濃灰色	1069-1080 大型貝殻片有 1112 礫(10×8mm) 礫石が 1120付近より下位はやや砂質になる 1185 貝殻片大型(ツノガイ) 1186 火山灰混じる	1010-1200まで続く
11.00						
12.00						

備考

地区名：大分市大野川川口付近（大野川大橋）

№3-5

孔番：№3

孔口標高：EL. 3.00m

掘進深度：EL. -45.00m

本柱状図の深度：EL. 12.00～15.00m

深度 (m)	柱状図	地層区分	層相	色調	記 事	採取試料(化石、炭化物等)
12.00	砂質シルト	シルト～砂質シルト ～シルト質細粒砂		黒灰色	1210-1212 細粒砂～細砂 1220付近より下位は砂がらになり、 シルト質細粒砂多 早行ラミナ(水平)みられる 1230-1250 ラミナ明瞭	
12.00	砂質シルト	砂質シルト～ シルト質細粒砂		黒灰色	1271-1280 頁岩集積層(水平) 下位ほど砂がらになる 細いラミナがみられる	
12.05 12.10	細粒砂	細粒砂～細粒砂り細粒砂		黒灰色	固める細粒砂～砂質は粗質か	
12.91	火山灰質砂質シルト	火山灰質砂質シルト		灰色～やや黒灰色	砂質シルトかなり火山灰が混じる (s-shの再堆積) うっすらとラミナらしきものがある シルトが多いところは色がやや濃く、火山灰多 いと色が薄くなる 1300辺りは構造がぼやけて乱れている 生物擾乱か	
14.00	砂質火山灰	砂質火山灰		灰白色ざみ わずかに薄茶 ががる	1390-1391 細粒積まる 砕塊積している (s-sh)	
14.18	シルト質火山灰	シルト質火山灰		灰色 わずかに薄茶ががる	1420 生痕 1428-1430 シルト質 砕塊積 (s-sh) 1430 生痕	
14.30	砂質火山灰	砂質火山灰		灰色 わずかに薄茶ががる	1430-1445 やや砂質 平行ラミナ有 砕塊積 (s-sh) 1441 生痕	
14.48	シルト質火山灰	シルト質火山灰		灰色 わずかに薄茶ががる	シルトサイズ 1458-1459 生痕(線型)	
14.58	砂質火山灰	砂質火山灰		灰色 わずかに薄茶ががる	1459-1463 ラミナみられる やや粗粒(細粒砂土)	1468-1505まで続く
14.68	シルト質火山灰	シルト質火山灰		灰白色ざみ わずかに薄茶 ががる	1473 生痕 1483-1486 クロスラミナ 生痕	
15.00						

備考：

地区名：大分市大野川川口付近（大野川大橋）

No.3-6

孔番：No.3

孔口標高：EL. 3.00m

掘進深度：EL. -45.00m

本柱状図の深度：EL. 15.00～18.00m

深度 (m)	柱状図	地層区分	層相	色調	記 事	採取試料(化石、炭化物等)
15.00		シルト質火山灰	わずかに薄茶 かかる灰色		1526-1544 やや砂質をおびる 砂質をおびる所とシルト質の所の境界不明瞭	
15.44					1544-1585 シルト質 炭化物わずかに点在	
16.00		砂質火山灰	わずかにうす茶 かかる灰色		境界線不明瞭	
16.06		シルト質火山灰～ 砂質火山灰	わずかにうす茶 かかる灰色		境界線不明瞭 1605-1617 炭化物入る 炭化物点状 かすかにラミナみられる(水平)	
16.25		シルト質火山灰	わずかにうす茶 かかる灰色		1625-1629 やや粗粒、砂質で一部粗粒砂 おおものも混じる	
16.26		シルト質火山灰	わずかにうす茶 かかる灰色		ラミナばやけているが乱れている	
16.27		砂質火山灰	黒上やや白出る		平行ラミナがわずかにみられる	
16.45		シルト質火山灰	わずかにうす茶 かかる灰色		ラミナ等ばやけているが乱れている	
16.46		砂質火山灰	黒上やや白出る		平行ラミナがわずかにみられる	
16.47		シルト質火山灰	わずかにうす茶 かかる灰色		平行ラミナがわずかにみられる	
16.57		砂質～シルト質火山灰	黒上やや白出る		ラミナ等ばやけているが乱れている	
17.00		シルト質火山灰 ～砂質火山灰	わずかにうす茶 かかる灰色 (シルト質部) と やや白味をおびる (砂質部)		1700付近から1780付近まで シルト質の中に砂質の部分が不規則な形状で入り、その砂質部の中のラミナは入り乱れた状態にある 1769-1792 砂質火山灰が不規則な形で入る。 ラミナは乱れている	

各境界線不明瞭
1657-1698まで続く

備考：

地区名：大分市大野川河口付近（大野川大橋）

地J-7

孔番：No.3

孔口標高：EL. 3.00m

掘進深度：EL. -45.00m

本柱状図の深度：EL. 18.00-21.00m

深度 (m)	柱状図	地層区分	層相	色調	記事	採取試料(化石、炭化物等)
18.16		アカホヤ	シルト質火山灰 やや砂質シルト質火山灰	わずかにうす茶がかる灰色 同じよりわずかに濃	炭化物点在 1818付近からやや砂質混り 境界不明瞭	
18.26					細かい平行ラミナが見られる 境界不明瞭	
18.30					ラミナが見られる(水平)	
18.30						
18.60		アカホヤ	シルト質火山灰 ～ やや砂質まじり シルト質火山灰	わずかにうす茶がかる灰色	全体的に炭化物点在 全体的にぼやけている 1900以降は平行ラミナ状の細かいものがわずかにみられる	
19.07					1917よりシルト質火山灰(厚さ1m長3m)換まる (水平)	
19.07					水平 境界明瞭	
19.71		アカホヤ	シルト質火山灰	わずかにうす茶がかる灰色 やや明るい	わずかに平行ラミナ状のものみられる(水平) 境界明瞭	
19.84					シルト質火山灰と砂質火山灰とが互層状に入る 平煎に1970-1980は平行ラミナみられる 境界明瞭一部漸移的	
20.00			シルト	濃灰色	2010 頁断片 ほぼ均質なシルト 2038 頁断片 2045 頁断片 2068 頁断片 2089 頁断片	1995-2048まで続く
20.00						
20.00						
20.00						
20.00						

備考：

地区名：大分市大野川河口付近（大野川大橋）

No.3-1

孔番：No.3

孔口標高：EL. 3.00m

掘進深度：EL. -45.00m

本柱状図の深度：EL. 21.00-24.00m

深度 (m)	柱状図	地層区分	層名	色 質	記 事	採取試料(化石、炭化物等)
21.00			シルト	濃灰色	2102 貝殻片	
21.25-21.49					貝殻片点在	
1995-2249					まで全体として上方細粒化	
2175					付近より砂質がらになる シルトと砂質シルトの境界不明、漸移している	
2182					大型貝殻片	
					下位ほどより砂質がらになる	
2217					大型貝殻片	
2230					付近からはシルト質細粒砂になるが、 上位との境界不明、漸移的	
2247-2248					に中～細粒砂が不規則な形で挟まる	
22.48						
22.64		中層～細砂	ゴマシオ状	中層主体Max25×15mm Ave4×5mm 室内～円盤 数粒のみ		
22.70		泥質細～中粒砂	濃灰色	2270-2347 全体として上方細粒化を示す 71%以上泥が多い		
2280	付近より粗粒砂になるが上位とは漸移的で 境界不明					
2300	付近より泥になる層が中層大になる					
23.05		細粒泥り泥質粗粒砂	濃灰色	2320	付近より中層が多くなり、砂質層になるが 上位とは漸移的に変化し、境界不明	
	中層泥り泥質粗粒砂	2320		付近より中層が多くなり、砂質層になるが 上位とは漸移的に変化し、境界不明		
	砂質層	2320		付近より中層が多くなり、砂質層になるが 上位とは漸移的に変化し、境界不明		
23.41		中層	濃灰色	2347-2376	付近まで最大25×15mm Ave4×5mm 室内～円盤主	
23.47		細粒泥り中粒砂 ～粗粒砂	濃灰色	2347-2376	付近まで最大25×15mm Ave4×5mm 室内～円盤主 2347-2376	
23.76				2376	付近より粗粒砂になるが、漸移的で境界不明	
23.80				2380	付近より粗粒砂になるが上位とは漸移的で境界不明	
24.00				2380	以下より下位ほど漸移的に粗粒になる	

備考

地区名：大分市大野川川口付近（大野川大堤）

No.3

孔番：No.3

孔口標高：EL. 3.00m

掘進深度：EL. -45.00m

本柱状図の深さ：EL. 24.00-27.00m

深度 (m)	柱状図	地層区分	層名	色調	記 事	採取試料(化石、炭化物等)
24.43			中粒砂～中礫	濃灰色	上位から細粒砂混り中粒砂から中粒砂、粗粒砂、中礫へと順次下位へ変化する 上方細粒化 2425付近より中礫多くなる 層 Max22mm×16mm Ave6mm×5mm 歪円礫土 海況差～層は海況差～やや不直	
24.50		中礫混り粗粒砂	濃灰色	層 17mm×8mm大、歪円～五角礫、海況やや不直	上方細粒化サイクル	
24.55		細～中礫	濃灰色	層 Max12mm×7mm Ave7mm×5mm 歪円～五角礫 海況やや不直	上方細粒化サイクル	
24.62		中礫混り粗粒砂	濃灰色	層 6mm×5mm 歪円～五角礫 海況やや不直	上方細粒化サイクル	
24.64		中礫混り粗粒砂	濃灰色	層 5mm×4mm 歪円～五角礫 海況やや不直	上方細粒化サイクル	
24.74		粗～中礫	濃灰色	層 Max15mm×13mm Ave8mm×7mm 歪円礫土 上位から下位へ中粒混り粗粒砂 細礫、中礫と層移的に変化、上方細粒化を示す		
24.80		粗～中礫	濃灰色	層 Max15mm×13mm Ave8mm×7mm 歪円礫土 2489付近より下は礫土体 層 Max40mm×30mm Ave18mm×8mm 歪円～五角礫土 層部：海況やや不直		
25.00		粗粒砂～中礫	濃灰色	層部：海況やや不直		
25.13		粗粒砂～中礫	濃灰色	海況やや不直 部分的(2525、2530、2539付近)層が水平に配列 全体的には、上方細粒化傾向か 71%以下に粗や細粒砂混る 層下部は中礫(40mm×30mm大)		
25.52		砂混り粗礫～中礫	濃灰色	全体的に上方細粒化傾向を示す 71%以下に粗粒砂入る 層下部中礫 層 Max35mm×30mm Ave12mm×8mm 歪円～五角礫 海況不直	層 Max12mm×8mm Ave8mm×5mm 歪円～五角礫土、71%以下に粗～中粒砂混る	
25.78	粗～中礫	濃灰色	層 Max12mm×8mm Ave8mm×5mm 歪円～五角礫			
25.84	粗～中礫	濃灰色	層 Max12mm×8mm Ave8mm×5mm 歪円～五角礫			
25.90	粗粒砂～中粒砂	濃灰色	海況やや不直、71%以下に粗～中粒砂混る 上位から下位へ層移的に変化 境界不明			
26.00	砂質礫	濃灰色	中礫多 Max60mm×40mm Ave18mm×12mm 歪円～五角礫 71%以下 砂質 海況やや不直	上方細粒化サイクル		
26.18	粗礫～中礫	濃灰色	境界不明			
26.20	粗礫～中礫	濃灰色	上方細粒化を示す、上位が粗礫で下位粗粒に中礫が多くなる、海況不直 層 Max18mm×13mm Ave8mm×7mm 歪円～五角礫			
26.30	粗粒砂～中礫	濃灰色	2530-2540 中粒～粗粒砂主 2540-2549 粗粒～粗粒砂主 2549-2580 中礫主 全体として上位から下位へ粗粒砂、粗粒砂、中礫と層移的に変化し、上方細粒化を示す 海況差～やや不直			
26.80	粗粒砂～中礫	濃灰色	層 Max55mm×40mm Ave23mm×18mm 歪円～五角礫土			
27.00	粗粒砂～粗礫	濃灰色	中礫10mm×30mm大より 全体として粗粒砂～粗礫で上方細粒化傾向を示す 海況やや不直			

備考

地区名：大分市大野川川口付近（大野川大橋）

No.3-10

孔番：No.3

孔口標高：EL.3.00m

掘進深度：EL.-45.00m

本柱状図の深度：EL.27.00～30.00m

深度 (m)	柱状図	地層区分	層相	色調	記 事	採取試料(化石、炭化物等)
27.00			中礫	濃灰色 ゴマシロ	中礫 Max42mm×40mm Ave15mm×12mm 歪角～歪円礫主 淘洗不良 φ50mm次の礫の間をφ5～10mmの礫が充填	
27.30			細礫～中礫	濃灰色 ゴマシロ	礫 Max40mm×30mm Ave10mm×8mm やや歪角礫多い 歪角～歪円礫主 10～20mm大礫点在、やや上方細粒化中 淘洗不良	
27.40			砂質礫	濃灰色 ゴマシロ	礫 Max25mm×20mm Ave8mm×6mm 歪角～歪円礫 11ヶ所付近～細粒砂多い 淘洗不良	
27.50			中礫混り細粒～ 極細粒砂～ 中礫	濃灰色 ゴマシロ	中礫 90mm+点在 全体としては上方細粒化傾向 淘洗 2750-2805：歪～やや不良 2805-2826：不良 2803付近より中礫入りだし 2815付近より下位は中礫主体 礫 Max15mm×10mm Ave10mm×7mm 歪角～歪円礫主 境界不明確	
28.00			中礫混り細粒砂 ～極細粒砂	濃灰色 ゴマシロ	極細粒砂、極細粒砂からなるが下位の方が極粒がみ 中に入る中礫も下位の方が多くなる。 全体的に上方細粒化傾向を示す 2870-2882 中礫多く混じる 礫 Max50mm×30mm Ave25mm×20mm 歪角～歪円礫	
28.20			細粒砂～中礫	濃灰色	極細粒砂11ヶ所に混入する 2888-2900 中礫多く入る 礫 Max35mm×30mm Ave12mm×10mm 歪円礫主	
28.40			細粒砂～中粒砂～中礫	濃灰色	2905-2910付近：細粒～中粒砂 2910-2915：中粒砂 2915-2920：中粒～細粒砂 2920-2927：細粒～中礫 礫 Max40mm×30mm Ave10mm×8mm 歪円礫主 境界淘洗不良	
28.60			シルト	濃灰色	全体として上方細粒化の～サイクル(2827-3011)	
28.80					2942 貝殻片 ほぼ均質	
29.00					2978 貝殻片	
29.20					2827-3011まで続く 2930-2935貝サンプル	
29.40						2940-2945貝サンプル
29.60						
29.80						
30.00						

備考：

地区名：大分市大野田川河口付近（大野田大橋）

No.3-11

孔番：No.3

孔口標高：EJ. 3.00m

掘進深度：EJ. -45.00m

本柱状図の深度：EJ. 30.00～33.00m

深度 (m)	柱状図	地層区分	層相	色 質	記 事	採取試料(化石、炭化物等)
30.11			シルト～中粒砂～細砂	黄灰色	3054付近より泥質中粒砂 3055付近より泥質細砂～細砂中に中粒(20×20)入る	3030-3035長サンプル
31.00			シルト ↓ 中粒砂 ↓ 細砂	黄灰色	シルトはほぼ均質 全体として上方細粒化を示す シルト、砂、礫の変化は漸移的 3112付近より泥質中粒砂下位へ細粒化 3119付近より泥質粗粒砂 3120-3122細砂	3080-3085長サンプル
31.22			シルト	黄灰色 ↓ 黒	ほぼ均質 基 基下部砂質シルト	3130-3135下位サンプル
31.80			シルト～砂質シルト	やや黒がかった黄灰色	3190-3210 シルト主体 全体としてやや火山灰混りか？ 3210-3232付近やや砂質がかかる 3232-3265付近シルト主体 3265-3280付近やや砂質がかかる 3310-3314：上方細粒化 3300前後は炭化物みられる	3285-3300年代サンプル
33.00						

備考：

地区名：大分市大野川河口付近（大野川大橋）

No.3-12

孔番：No.3

孔口標高：EL. 3.00m

掘進深度：EL. -45.00m

本柱状図の深度：EL. 33.00～36.90m

深度 (m)	柱状図	地層区分	層名	色調	記事	採取試料(化石、炭化物等)
33.10			砂質シルト～ 細粒砂混り中粒砂	やや緑がかる黄茶 ～黄灰色	上方細粒化を示す。3310-3319付近中粒～粗粒 砂となり下位はより粗粒が目立つ程度変化層等 M. 境界不明瞭。やや硬りか	3308-3309年代サンプル
33.20			泥質細～中粒砂 ～中・粗粒砂	やや緑がかる黄茶 ～黄灰色	上方細粒化を示す 粒度変化は漸層的。下位ほど粗粒 やや火山灰混りか 境界不明瞭	
33.70			砂質シルト～泥質砂	やや緑がかる茶 ～黄褐色	全体的に上方細粒化を示し粒度変化は漸層的 Y行は泥が多い。やや火山灰混りか 3355付近より下位は泥質で粗粒砂が多い	
34.00			砂質砂	やや緑がかる 黄灰色	全体として3400～3400+10付近まで粗粒化を示し、 その間を10～20m大の歪円～円礫が充填し、更に 近辺りの陶片の多い中～粗粒砂がY行はを作る 礫種：安山岩多い	
35.00					境界不明瞭	
35.11			砂質砂	やや緑がかる 黄灰色	全体として上位から下位へ粗粒化 上方細粒化を示す 3511-3532付近まで泥混り中粒砂 3532付近より中粒入る 礫 Max.70mm+ Ave.30mm×25mm 歪円礫 礫種：安山岩 陶片混～やや良 境界不明瞭	
35.48			砂質砂	やや緑がかる 黄灰色	3548-3555付近中礫(10mm大)まじり 泥質中～粗粒砂 3555付近より下位礫多い。下位ほど礫が大きくなる 傾向を示す。全体として上方細粒化傾向を示す 礫 Max.65mm+ Ave.30mm×20mm 歪円～歪角礫主 円礫混じる 礫種：安山岩 境界不明瞭	
35.95						
36.90						

備考：

地区名：大分市大野川川口付近（大野川大橋）

No.2-13

孔番：No.3

孔口標高：EL. 3.00m

掘進深度：EL. -45.00m

本柱状図の深度：EL. 26.00-26.00m

深度 (m)	柱状図	地層区分	層名	色調	記 事	採取試料(化石、炭化物等)
26.30			砂質土	やや緑がかった 黄茶～黄灰色	最上部5cm位は塊寄り粗粒砂 3000以下中粒～大粒多い 塊 Max15mm + Ave20mm × 15mm 進行～呈角礫 礫種：安山岩多 淘洗不良 3095-3030上方細粒化傾向	
27.00			砂質土	やや緑がかった 黄茶～黄灰色	最上部2～5cmに中～粗粒砂、それ以降は塊 Y_v5は定置の中～粗粒砂が中～大塊の塊を帯 び 塊 Max150mm × 70mm + Ave20mm × 25mm 呈円礫種 安山岩多 淘洗不良	
28.00			シルト	やや濃い暗緑灰 色～灰緑色	全体として火山灰質か ほぼ均質	3785-4270まで続く
28.00				濃灰色	3855-3940 炭化物ラミナ状に挟まる(水平)	
26.00						

備考：

地区名：大分市大野川川口付近（大野川大橋）

地3-14

孔 番号：No.3

孔口標高：EL. 3.00m

掘進深度：GL. -45.00m

本柱状図の深度：GL. 39.00～42.00m

深度 (m)	柱状図	地層区分	層 名	色 調	記 事	採取試料(化石、炭化物等)
			シルト～砂質シルト	濃灰色	ほぼ均質	
42.00			砂質シルト 1		3070付近より下位 砂質を帯びる 粒度変化は漸移的で境界不明	
			シルト質極細粒砂		4000以下 泥溜りの極細粒砂 炭化物細片点在	
41.00					軽石層 (30m) 4083付近入る 軽石らしきや片とところどころに点在	
					4152付近炭化物あり	

備 考：

地区名：大分市大野川川口付近（大野川大橋）

No.3-15

孔番：No.3

孔口標高：EL. 3.00m

掘進深度：QL. -45.00m

本柱状図の深度：QL. 42.00-45.00m

深度 (m)	柱状図	地層区分	層 種	色 調	記 事	採取試料 (化石、炭化物等)
42.70			シルト質細粒砂	濃灰色	下位ほどより砂質になる傾向あり	3706-4270まで続く
			中粒～粗粒砂大 粒子混じる		4220付近より中粒砂～粗粒砂大物質や軽石片が 入り出す	
43.00			シルト質軽石まじり 中粒～粗粒砂	濃灰色 (ゴマシオ)	4300付近は混がちであるが軽石が多く全体に入る 高さやや不直 3776-4370 全体的に上方細粒化傾向 細粒大軽石混入る 4328 境界不明瞭	
43.70			シルト質軽石まじり 中粒～粗粒砂	濃灰色 (一部ゴマシオ)	全体的には上方細粒化傾向にある 4433-4445 粗粒砂～細粒多し	
44.45			砂質シルト	濃灰色	深部地質	
44.50						
45.00						

備考：

地区名：大分市大野川川口付近（大野川大橋）

No.3-16

孔番：No.3

孔口標高：E1.3.00m

掘進深度：E1.-54.00m

本柱状図の深度：E1.45.00-48.00m

深度 (m)	柱状図	地層区分	層 種	色 調	記 事	採取試料 (化石、炭化物等)		
45.00					全体的に上方細粒化傾向			
45.15					4512-4515：中粒砂	境界不明瞭		
45.20			砂質シルト	濃灰色	ゴ	ほぼ均質	境界不明瞭	
45.22			中粒砂	濃灰色	マ	軽石混りか	境界不明瞭	
45.24			砂質シルト	濃灰色	マ	ほぼ均質	境界不明瞭	
45.26			中粒～粗粒砂	濃灰色	シ	上方細粒化傾向	境界不明瞭	
45.32			軽石混り中粒～極粗粒砂	濃灰色 グマシイ		上方細粒化傾向 一部均質 軽石入る 粗粒物質は軽石が目立つ	境界不明瞭	
45.52			軽石混り中粒～粗粒砂	濃灰色 グマシイ		上方細粒化傾向を示す。 粗粒物質は軽石が目立つ	境界不明瞭	
45.64			軽石混り中粒～粗粒砂	濃灰色 グマシイ		上方細粒化傾向を示す。	境界不明瞭	
45.78			軽石混り中粒砂	濃灰色 グマシイ		境界10°傾斜	境界不明瞭	
45.85			軽石混り中粒～粗粒砂	濃灰色 グマシイ		4578-4610間で上方細粒化傾向を示す。		
46.00			軽石混り中粒～粗粒砂	濃灰色 グマシイ		最下部に20mm大軽石混入る。	境界不明瞭	
46.10			軽石混り中粒～粗粒砂	濃灰色 グマシイ		最下部に20mm大軽石混入る。	境界不明瞭	
46.21			軽石混り中粒砂～粗粒砂	濃灰色 グマシイ		上方細粒化傾向を示す。 4625-4640付近：均質 最下部15mm大軽石混入る。 最下部境界部45°傾斜。	境界不明瞭	
46.55			砂質シルト	濃灰色		シルト層か、境界部から45°傾斜したその上にも均質	境界不明瞭	
46.81			細粒～中粒砂	濃灰色		粗い5mm	境界不明瞭	
46.83			砂質シルト	やや濃い灰色		4670付近：炭化物クマナ状に入	境界不明瞭	
46.75			粗粒砂(軽石質)	ゴマシイ		粗粒砂や軽石多い。	境界不明瞭	
46.79			砂質シルト～粗粒砂	やや濃い灰色		全体にボヤケている。	境界不明瞭	
47.00			中粒～粗粒砂	濃灰色 グマシイ		上方細粒化傾向 軽石混り	境界不明瞭	
47.05	軽石混りシルト質細粒砂～粗粒砂	濃灰色 グマシイ		上方細粒化傾向 粗粒粒子は軽石混る	境界不明瞭			
47.25	シルト質細粒砂	濃灰色		均質	境界不明瞭			
47.33	砂質シルト	濃灰色		均質	境界不明瞭			
47.43	軽石混り中粒～粗粒砂	濃灰色 グマシイ			境界不明瞭			
47.52	砂質シルト	濃灰色		均質	境界不明瞭			
47.65	軽石混り中粒～粗粒砂	濃灰色 グマシイ			境界不明瞭			
47.71	砂質シルト	濃灰色			境界不明瞭			
47.84					境界不明瞭			
48.00								

備考：

地区名：大分市大野川河口付近（大野川大橋）

No.3-17

孔番：No. 3

孔口標高：EL. 3.00m

掘進深度：EL. -54.00m

本柱状図の深さ：EL. 48.00～51.00m

深度 (m)	柱状図	地層区分	層相	色調	記 事	採取試料 (化石、炭化物等)
48.00			軽石混り粗粒砂	濃灰色 (ゴマシオ)	4805-4810：スコリア混入。 上方細粒化傾向を示す。 最下部：細粒～5mm大軽石多く入る。 (4852-4854) 境界不明瞭	
48.50			軽石混り中粒～粗粒砂	濃灰色 (ゴマシオ)	上方細粒化傾向を示す。 4822付近より下位：細粒～中粒 (15mm大) 軽石が多く入る。 境界不明瞭	
48.90 48.00			シルト質細粒砂～ 砂質シルト	濃灰色	層ね構造 火山灰混りか 境界不明瞭	
49.67			軽石層		軽石濃集 層厚 25×20m Ave 12×8m 歪角～歪円礫状 70%以上は定置 上位ほど定が多い。	
50.00			シルト	やや緑がかる 濃灰色	塊状	
50.72			中礫	濃灰色	層厚 70m+ Ave 35×12m 歪角～歪円 Andesite 高沈不良	
51.00		大分層群	火山灰混り定置砂	灰緑色	細粒混り細砂～中粒砂 70%以上定置。 高沈不良	5072-5166まで続く

備 考：

地区名：大分市大野川河口付近（大野川大橋）

No.4-1

孔番：No.4

孔口標高：EL. 3.00m

掘進深度：GL. -36.00m

本柱状図の深度：EL. 0.00-2.00m

深度 (m)	柱状図	地層区分	層 種	色 調	記 事	採取試料 (化石、炭化物等)
0.00		埋土	泥質り細粒～中粒砂	やや褐色がかる 黄褐色	50-60cm付近に火山灰質年度片(80×30mm)入る 中礫(15×10mm)点在 泥質中粒砂 濁状並	
1.00			細粒り中粒砂	黄灰色	中礫(50mm×30mm)入る 濁状並	
1.80			泥質り中粒砂	黄褐色	YF付に泥質 中粒砂主体、粒粒砂大粒子混じる 濁状並～やや不具 200-220付近泥多し	
2.00						
2.24			泥質り中粒～細粒砂	やや褐色がかつ た黄褐色	YF付に泥が混じる 中粒から細粒砂 下位側は、やや細粒になる傾向を示す 上方細粒化傾向を示す	224-400まで続く
3.00						

備考：

地区名：大分市大野川河口付近（大野川大橋）

No.4-2

孔番号：No.4

孔口標高：EL. 3.00m

掘進深度：EL. -39.00m

本柱状図の深度：EL. 3.00-8.00m

深度 (m)	柱状図	地層区分	層名	色調	記 事	採取試料 (化石、炭化物等)
3.00			泥溜り中粒砂～細粒砂	やや濃茶色がかる濃灰色	310-320付近7H%以上混多し	
330-338付近極細粒砂多し						
351-356付近7H%以上混多し						
380-400付近7H%以上混多し						
4.00					最下部細砂 (2m) あり	
4.26			砂溜りシルト～細・中粒砂	濃灰色	421-430シルト 430から泥質砂となり下位ほど細粒 全体として上方細粒化、シルト・砂の程度変化は漸移的 最下部細粒砂で15m大層入る	
4.36			砂溜りシルト	濃灰色	430-435付近に砂ラミナ状に入る (水平)	
4.51			中粒～細粒物	濃灰色	448付近にシルト層 (20×20m) 入る、全体として上方細粒化を示す。最下部は細粒溜り細粒砂	
4.58			シルト	濃灰色	漸粒砂溜り	
4.65			砂質泥	濃灰色	泥溜り細粒砂から中粒へ変化し、下位ほど細粒 (上方細粒化) 濁法不良 Max21×10mm, Ave12×10mm 濁法不良	
5.00			シルト	濃灰色	ほぼ均質 502-505土塊か	
5.18			細粒砂～細砂	濃灰色	最上部7H%以上混がみちか、良層有、全体として上方細粒化 525付近より細粒が入り下位で多くな * 濁法不良	
5.30			細粒砂～細砂	濃灰色	中粒砂溜り細粒砂主体 極細粒砂、細砂が点在 濁法やや不良 境界不明確	
5.62			中粒砂～細粒砂	濃灰色	545-570付近泥溜り 全体的に上方細粒化 濁法やや不良	542-620まで続く
6.00						

備考：

地区名：大分市大野川河口付近（大野川大橋）

No.4-3

孔番：No.4

孔口標高：EL. 3.00m

掘進深度：EL. -16.00m

本柱状図の深度：Q. 6.00-9.00m

深度 (m)	柱状図	地層区分	層相	色調	記 事	採取試料 (土石、炭化物等)
6.00			中粒砂～粗粒砂	濃灰色	全体的に上方細粒化 500以下で粗粒砂多くなる 20mm大礫有り 海法色～やや不具	
6.20			粗粒～極粗粒砂	濃灰色	上方細粒化をせず、海法色～やや不具 500付近より粗粒砂多い、細礫混在	
6.27			中粒～粗粒砂	濃灰色	15mm大礫 (歪角礫) 有り 海法色～やや不具	
6.57			シルト～砂質シルト	やや濃い灰色	砂質シルトとシルトが互層状に入る (水平)	
6.75			中粒砂～粗粒砂	濃灰色	800-710付近粗粒砂～極粗粒砂多し 貝殻片点在 海法色～やや不具 725付近粗粒砂～細礫混在 全体としては上方細粒化傾向か？ 745-700礫多くなる ◎礫 (Max20×20mm, Ave8×6mm) 歪角～歪角礫	
7.00	細礫混り粗粒砂 ～粗粒砂	濃灰色	海法やや不具 細礫 (3mm大) 点在			
7.96		シルト～砂質シルト	1	濃灰色	705-603 シルト 816-620付近炭化物 (水平) ラミナ様に入る 全体として上方細粒化 粒度変化は斜的で境界不明瞭 全体として貝殻片点在 815以下は泥質細粒～極細粒砂	
9.00			泥質細粒砂			

備考：

地区名：大分市大野川川口付近（大野川大橋）

No.4-4

孔番：No.4

孔口標高：E.L. 3.00m

掘進深度：E.L. -36.00m

本柱状図の深度：E.L. 9.00～12.00m

深度 (m)	柱状図	地層区分	層名	色調	記 事	採取試料(化石、炭化物等)
9.00			泥質細粒砂 ～砂質シルト	濃灰色	全体に貝殻小片点在	
10.00					1012-1022：炭化物入る 水平 1030付近：泥質 1040付近：泥質 境界不明瞭	
10.55			砂質シルト	濃灰色	ほぼ均質 貝殻小片が 塊状 境界不明瞭 (10' 位傾斜している)	
10.70			やや泥質細粒砂	濃灰色	10'以上認めら 境界不明瞭	
10.80			砂質シルト～ 中粒流り細粒砂	濃灰色	上方細粒化を示す	
11.00					1100以上 中粒(3×6mm大、石英)点在	
11.05			砂質シルト ～細粒流り	濃灰色	ボヤケているがラミナらしき層あり 境界明確10' 傾斜	
11.55			細粒砂～中粒砂	濃灰色	上方細粒化を示す 1100付近より中粒砂多くなりラミナ層間が 境界やや不明瞭	
11.67			砂質シルト	濃灰色	ラミナらしきものあり(水平) 境界不明瞭	
11.83			極細粒砂 ～細粒砂	濃灰色	上方細粒化傾向を示す 境界やや不明瞭	
12.00	シルト	濃灰色				

備考：

地区名：大分市大野川川口付近（大野川大橋）

No.4-5

孔番：No.4

孔口標高：EL. 2.00m

掘進深度：EL. -35.00m

本柱状図の深度：EL. 12.00～15.00m

深度 (m)	柱状図	地層区分	層様	色調	記 事	採取試料 (化石、炭化物等)		
12.00			細粒砂	濃灰色	水溜り・境界不明瞭			
12.06			砂質シルト	濃灰色	全体的にぼやけているが細かいラミナあり			
12.12			細粒～細粒砂	濃灰色	うすラミナがある(水溜り)			
12.40			砂質シルト	濃灰色	1220-1223：砂がち			
12.47			泥質細粒～細粒砂	濃灰色	境界不明瞭 細かいラミナ 境界不明瞭			
12.74			砂質シルト	濃灰色	一部砂がちになる部分がラミナ状に入る 境界不明瞭			
12.81			泥質細粒～細粒砂	濃灰色	細かいラミナあり 境界不明瞭			
12.88			砂質シルト	濃灰色	細かいラミナあり 境界不明瞭			
12.97			泥質細粒～細粒砂	濃灰色	細かいラミナあり 境界不明瞭			
13.00			砂質シルト	濃灰色	一部砂がちになる所がある			
13.30			泥質細粒～細粒砂	濃灰色	細かいラミナ 境界不明瞭			
13.35			砂質シルト	濃灰色	一部砂がちな所あり 境界不明瞭			
13.63			泥質細粒～細粒砂	濃灰色	細かいラミナあり 貝殻小片あり(点在) 1384：炭化物ラミナ状に入る 境界不明瞭			
14.00			砂質シルト	濃灰色	ほぼ均質 境界不明瞭			
14.09			泥質細粒砂	濃灰色	1415-1417付近 やや泥質 ラミナ弱い 境界不明瞭			
14.20			砂質シルト	濃灰色	貝殻小片点在 ほぼ均質 境界不明瞭			
14.31			泥質細粒砂	濃灰色	貝殻小片あり 境界不明瞭			
14.34			砂質シルト	濃灰色	ほぼ均質 境界不明瞭			
14.35								
14.36								
14.37								
14.38								
14.39								
14.40								
14.41								
14.42								
14.43								
14.44								
14.45								
14.46								
14.47								
14.48								
14.49								
14.50								

備考

地区名：大分市大野川川口付近（大野川大橋）

地4-4

孔番：No.4

孔口標高：EL. 2.00m

掘進深度：EL. -26.00m

本柱状図の深度：EL. 15.30～18.00m

深度 (m)	柱状図	地層区分	層名	色調	記 事	採取試料(化石、炭化物等)
15.00			細砂	濃灰色	最下部に硬いウレタ	
16.00			砂質シルト	濃灰色	1600前後 やや砂質	
17.00					1690-1670 大型貝殻有り	
17.56					1720-1730 やや砂質 軽石(5mm)入る	
17.67			泥質シルト	濃灰色	貝殻片有り。軽石(5mm以下)入る 赤褐色	
18.00			砂質シルト	濃灰色	砂がらの所 一部分にある	

備

地区名：大分市大野川川口付近（大野川大橋）

No.4-7

孔番：No.4

孔口標高：EL.3.00m

掘進深度：EL.-31.00m

本柱状図の深度：EL.18.00-21.00m

深度 (m)	柱状図	地層区分	層名	色調	記号	採取試料(七石、炭化物等)
18.13					1800前後 砂がらみ	
18.14					砂質中硬 深部おびる灰色 細砂粘土	
					1820付近：砂質がらみ 炭化物有り	
					全体的に貝小片あり	
					1865 大型貝殻有り	
					炭化物がミナ杭に入る	
18.00					1908-1912付近 やや砂がらみ、貝片有り	
			砂質シルト-シルト	黄灰色		
					1955付近より下位 やや砂がらみ	
					全体的には塊状 一部やや砂がらみ部分有り	
					2039 やや砂がらみ 2043 やや砂がらみ	
					2061 やや砂がらみ	
21.00					2082 貝小片 (5mm) 有り 2094 貝小片あり	



地区名：大分市大野川川口付近（大野川大橋）

No.4-3

孔番：No.4

孔口標高：EL. 3.00m

掘進深度：EL. -35.00m

本柱状図の深度：EL. 21.00～24.00m

深度 (m)	柱状図	地層区分	層相	色調	記 事	採取試料 (化石、炭化物等)
21.00			砂質シルト～シルト	黄灰色	全体的に塊状のシルト～砂質シルト	
21.60, 21.62, 21.65, 21.68					やや粘がち	
21.74					やや粘がち	
21.98					貝殻薄層レンズ状 (厚さ3mm) 入る	
22.41					火山灰薄層 (厚さ5mm) 入る (水平)	
22.42					貝片有り	
22.76					大型貝殻有り	
23.07					蚌片 (長×2mm) 有り	
23.18					火山灰薄層	
23.40, 23.42					炭化物入る	



地区名：大分市大野川河口付近（大野川大橋）

No.4-9

孔番：No.4

孔口標高：El. 3.00m

掘進深度：El. -30.00m

本柱状図の深度：El. 24.00～27.00m

深度 (m)	柱状図	地層区分	層名	色調	記号	採取試料(化石、炭化物等)
25.00			砂質シルト～シルト	濃灰色	2415付近 やや砂がも	
					2420付近 やや砂がも	
24.00					2430-2435 やや砂がも	
					2440付近 やや砂がも	
					2467付近 やや砂がも	
					2480 炭化物片有り	
27.00			火山灰質砂質シルト	やや緑がかる濃灰色	2518 火山灰混じる	
					2527 火山灰(2cm大レンズ状)入る	
					2541 火山灰(4cm長、厚1cm)入る	
					2552 火山灰(5cm長、厚3cm)入る	
					2640付近より全体にやや火山灰が含まれている	

備考

地区名：大分市大野川川口付近（大野川大橋）

No4-10

孔番：No.4

孔口標高：EL. 3.00m

掘進深度：EL. -35.00m

本柱状図の深度：EL. 27.00～30.00m

深度 (m)	柱状図	地層区分	層名	色調	記事	採取試料(化石、炭化物等)
27.00		火山灰質砂質シルト	火山灰質砂質シルト	やや暗めの 濃灰色	2704-2709 大型二枚貝片	
2760付近より火山灰混りになり、 下位ほど火山灰がよくなる						
2772炭化物ラミナ状に入る 下位ほど色調も薄くなる		シルト質火山灰	シルト質火山灰	灰色	全体に炭化物の小片存在。	
色調は下位ほど薄くなる。						
2800 全線あり 2807-2820 ラミナ割れている 2828-2844 ラミナ (水平)あり						
28.44	砂混り シルト質火山灰	やや濃いめの 灰色	火山灰～ 火山灰質砂	薄い茶がかった 灰白色	貝殻類小片存在	
29.67	シルト	濃灰色				

2967-3083まで続く

備考：

地区名：大分市大野川河口付近（大野川大橋）

No.4-11

孔番：No.4

孔口標高：EL. 3.00m

掘進深度：EL. -36.00m

本柱状図の深度：EL. 30.00-33.00m

深度 (m)	柱状図	地層区分	層名	色調	記 事	採取試料(化石、炭化物等)	
30.00			シルト～砂質シルト	濃灰色	頁岩小片点在 部分的に砂質がもの所有り		
30.30							境界不明瞭
31.00			シルト質凝結砂 ～細粒砂	濃灰色	やや砂 かなり泥質 頁岩の小片点在 ラミナ製		境界不明瞭
31.40							境界不明瞭
31.50			砂質シルト	濃灰色			境界不明瞭
31.60							
31.80			シルト質細粒砂	濃灰色	頁岩小片点在 やや砂かなり泥質 ラミナ有り		境界不明瞭
31.90							境界不明瞭
32.00			砂質シルト	濃灰色			境界不明瞭
32.02							
32.10	シルト混り細粒砂	濃灰色	2210 大型頁岩片有り 全体に頁岩片点在				
32.20					境界不明瞭		
32.40	砂質シルト	濃灰色	2225付近 やや砂がち ラミナ有り		境界不明瞭		
32.45							
32.50	シルト混り細粒砂	濃灰色	頁岩小片点在 ラミナ製		境界不明瞭		
32.55					境界不明瞭		
32.60	砂質シルト	濃灰色			境界不明瞭		
32.65							
32.70	シルト混り細粒砂	濃灰色	頁岩小片点在 ラミナ製				
33.00							

備考：

地区名：大分市大野川川口付近（大野川大橋）

No.4-12

孔 番：No.4

孔口標高：EL.1.00m

掘進深度：GL.-36.00m

本柱状部の深度：GL.33.00～36.00m

深度 (m)	性状図	地層区分	層 相	色 調	記 事	採取材料(化石、炭化物等)
33.40			シルト混り細粒砂	濃灰色	貝殻微小片点在 ラミナ弱い	
33.47			砂質シルト	濃灰色	塊状	
34.00			シルト混り細粒砂	濃灰色	貝殻微小片点在 3372 大型貝片有り、水平 3409 貝片	
34.54			砂質シルト		塊状	構造不明瞭
34.57			シルト混り細粒砂		塊状	構造不明瞭
34.58			砂質シルト		塊状	構造不明瞭
34.62			砂質シルト		塊状	構造不明瞭
35.00			中粒混り粗粒砂 ～細礫	濃灰色	礫 Max40×20mm, 4mm×1mm 混在～歪角礫主 淘汰やや不良 軽石混り	
35.00			砂質シルト		塊状	構造不明瞭
35.00			中粒砂～粗粒砂		ラミナ有り 軽石混り	
35.00	シルト		塊状			
35.00	粗粒～超粗粒砂		軽石混り			
35.00	砂質シルト		塊状	構造不明瞭		
35.00	粗粒～超粗粒砂		ラミナ有り			
35.00	砂質シルト		塊状	構造不明瞭		
35.00	中粒混り粗礫 ～粗粒砂		礫 Max12×10mm, 4mm×2mm 歪角～歪円礫主 粗粒砂～細礫主 貝殻片点在			

備考：